

令和4年5月6日

保護者の皆様

白石市立福岡中学校
校長 柏 良行

英語教育に係るアンケートについて(お知らせ)

白石市では、令和3年度より文部科学省から「英語特例校」の指定を受け、英語教育に取り組んでいました。

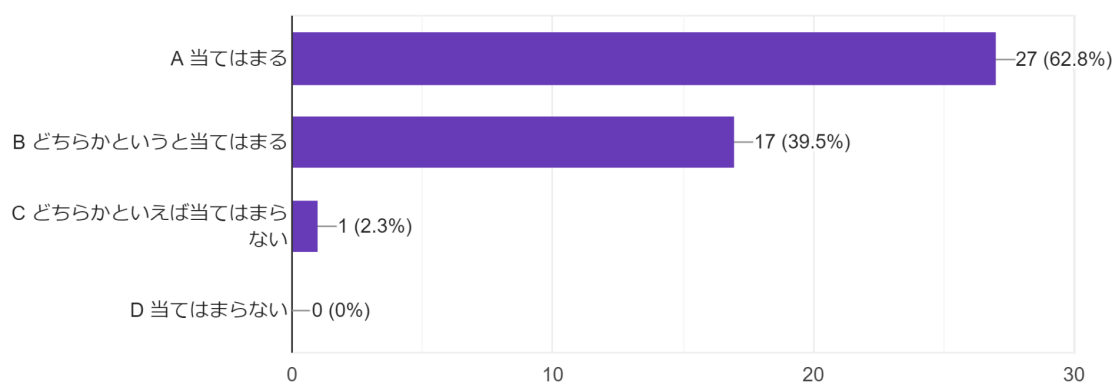
このことに係る結果検証のために、アンケート調査を実施し、その結果がまとまりましたので、以下のとおりご報告いたします。

記

1. 生徒アンケート結果

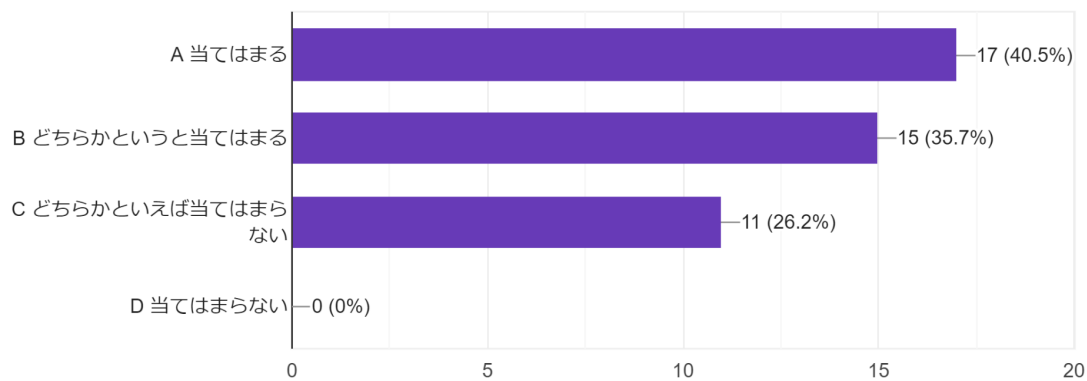
(1) 英語の授業を楽しみにしていますか。

43 件の回答

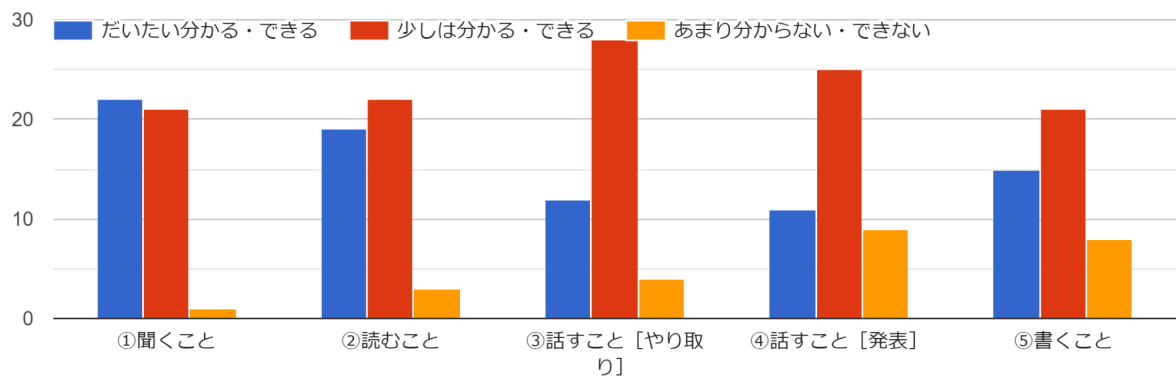


(2) 英語の授業では、進んで英語で話していますか。

42 件の回答

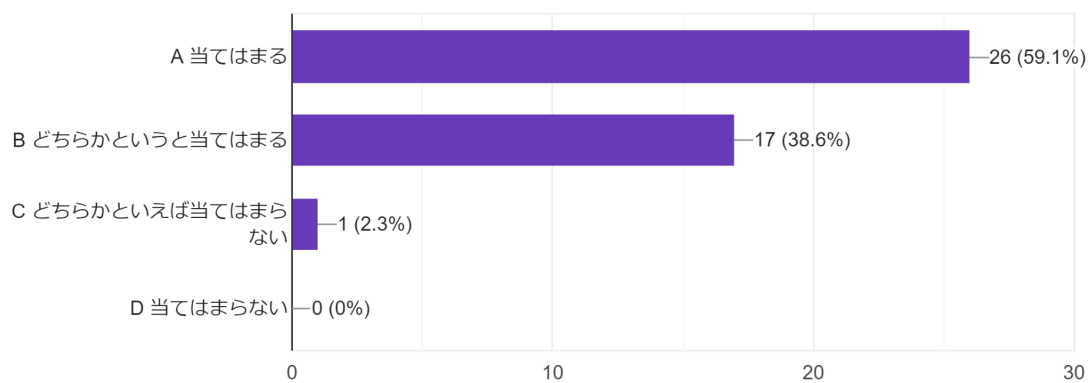


(3) 英語の勉強の内容はどのくらい分かりますか(できますか)。



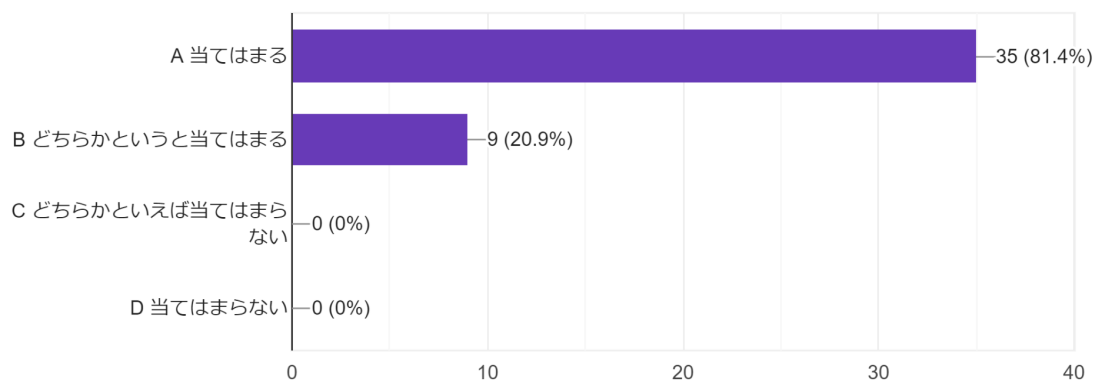
(4) 英語の授業で学習したことを通して、外国の文化や生活の様子を知ることができましたか。

44 件の回答



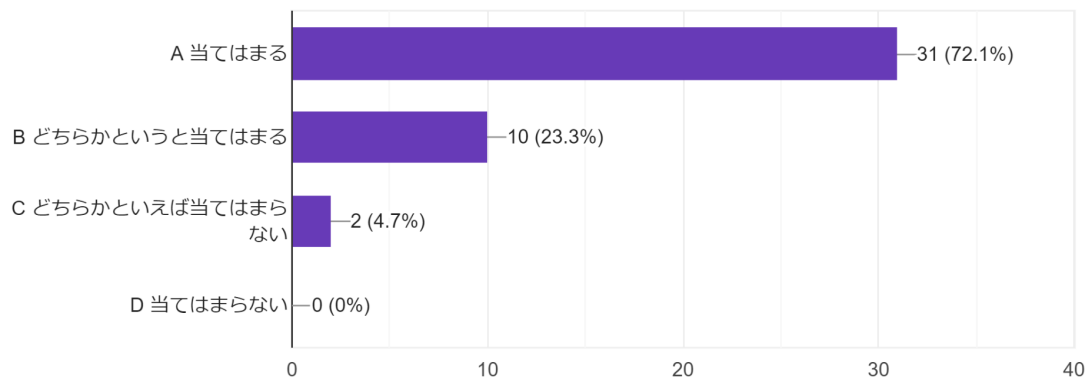
(5) 英語の授業で学習したことは将来役立つと思いますか。

43 件の回答



(6) 外国とのオンライン交流会を今後も続けていきたいですか。(実施学年のみ)

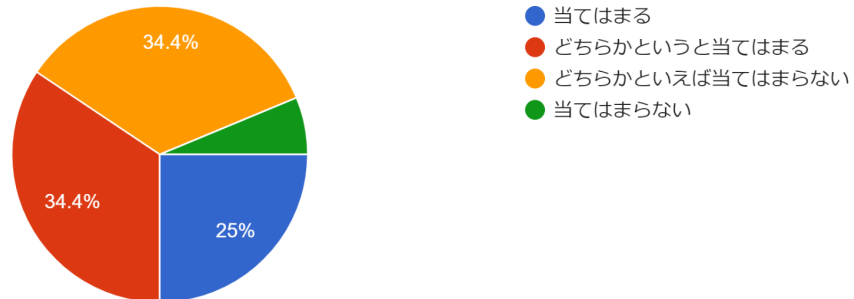
43 件の回答



2. 保護者アンケート結果

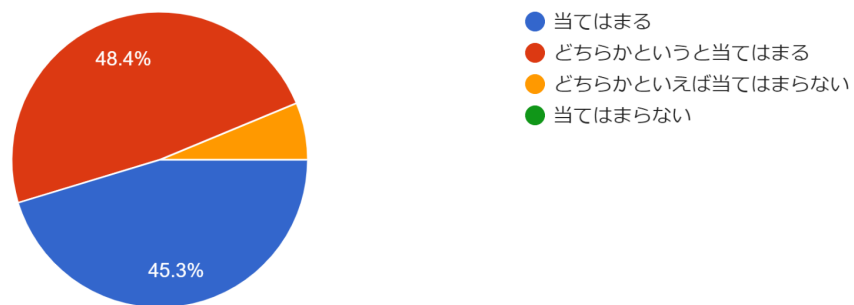
1 お子さんは、英語の授業を楽しみにしていますか。

64 件の回答



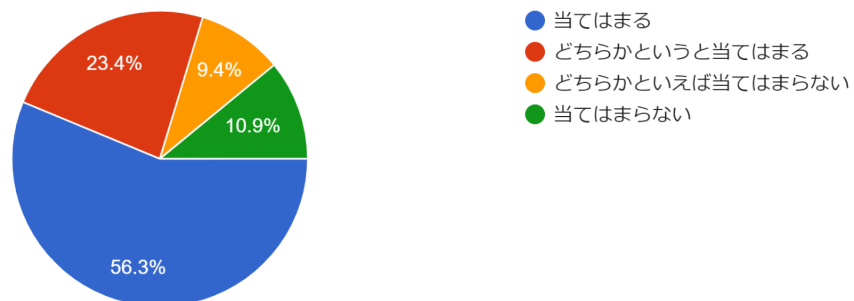
2 英語の授業において、コミュニケーションを重...関心を高めることに役立っていると思いますか。

64 件の回答



3 お子さんに英語検定を受けさせたいと思いますか。

64 件の回答



3. 教員アンケート結果(英語科教員:2名)

(1) 児童・生徒は、英語の授業を楽しみにしていると思いますか。 *

- ☐ A 当てはまる
- ☐ B どちらかという当てはまる
- ☐ C どちらかといえば当てはまらない
- ☐ D 当てはまらない

A:0名 B:2名 C:0名 D:0名

(2) 英語を実施してきたことで、児童・生徒に変化はありますか。

- ☐ A 当てはまる
- ☐ B どちらかという当てはまる
- ☐ C どちらかといえば当てはまらない
- ☐ D 当てはまらない

A:0名 B:2名 C:0名 D:0名

(3) 児童・生徒は、英語で話せなくても、積極的に意見や考えを伝えようとするようになりましたか。

- ☐ A 当てはまる
- ☐ B どちらかという当てはまる
- ☐ C どちらかといえば当てはまらない
- ☐ D 当てはまらない

A:1名 B:1名 C:0名 D:0名



英語特区の取組



～ 市内全小・中学校が文部科学省から「教育課程特例校」に指定されました ～

令和3年度より、本市全小・中学校において、文部科学省から英語教育に関する「教育課程特例校」（通称：英語特区）の指定を受けました。令和4年度も本市独自に編成した教育課程を実施することにより、これまで取り組んできた外国語・国際理解教育をより力強く推進してまいります。

英語特区となることで、どんなことをするのでしょうか？

小学校では

国の学習指導要領においては、小学校では3年生から外国語活動を学習することになっていますが、小学校1、2年生から「しろいしイングリッシュ（SE）」と命名した新設の英語活動を年間12時間実施します。A.L.T（外国語指導助手）との交流を通して、英語の発音やリズムに慣れ親しみ、外国の方々と積極的にコミュニケーションを図る態度を育成します。

中学校1、2年生において、小学校と同様に「しろいしイングリッシュ（SE）」という名称で、英語を用いたコミュニケーション能力の育成を目的とした英語活動を年間17時間実施します。「聞く、読む、話す、書く」活動を統合して、ふるさと白石について紹介したり、案内したり、英語を用いて自分の考えや思いを発信する力を身に付けさせ、世界の人々と英語を介して交流できる力を育成します。

中学校では

英語特区を活用した取り組みのほか、市立幼稚園において年間20時間程度の英語活動を実施し、A.L.Tとの交流を通して、異文化に慣れ親しみ、世界の人々と仲良く生活する態度を育成します。



全ての児童生徒が英語の学習を通して世界の国々の文化を学び、自分たちの生まれ育ったふるさと白石について、英語で紹介したり、白石のまちを案内したりすることができる力を育成し、「シビックプライド（まちへの誇りと愛着）」を育んでいくことを目標として進めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解ご協力をお願いします。